

「子供たちの心身の健全な発達のための子供の自然体験活動推進事業」報告書  
『子ども森林インストラクター推進プロジェクト』  
(一社)日本森林インストラクター協会・関東支部・神奈川地区

#### 【事業のポイント】

- 川の源流から河口までをたどって歩く。
- 川の上流域、中流域、下流域、それぞれの特徴を知る。

## 1.事業の趣旨

### (1) 趣旨

- ① 日帰り、川(湯河原町・新崎川)の源流から河口までの約 5km をたどって歩く。
- ② 箱根火山の麓の川の源流から、相模湾に至る河口までの、川の特徴を知る。

## 2.実施概要

### (1) 構成団体(運営体制)

関東支部長：田川裕則

神奈川地区委員：渡邊英夫(安全管理担当兼務)

神奈川地区事務局：中澤均

指導者：宇佐美良徳、角田昌司、梶浦雄介、久保典子、辻真澄、藤川大司、松山成二、岡本陽子

### (2) 開催実績

月日：令和2年 11月 22日(日)

場所：足柄下郡湯河原町幕山公園～新崎川～吉浜海岸

参加者数：小学生 7名(小3～6)、付添い保護者 2名、  
指導者 6名、総勢 15名

日帰り/宿泊：日帰り(午前9時30分～午後3時)

- 主な活動：
- ① フィールドビンゴによる、源流までのハイキング
  - ② 新崎川の全貌を地形図で観察
  - ③ 新崎川を河口に向けてたどりながら、野鳥を観察
  - ④ 新崎川の河口、吉浜海岸でビーチコーミングや石積みにチャレンジ

### (3) 具体的な取組の概要

集合場所：湯河原町・幕山公園 管理棟前

9:30 集合、オリエンテーション

- ・受付時に、体温測定(検温)し、事前アンケートを記入してもらう。
- ・全体オリエンテーション(スケジュールと活動の概要説明)をする。
- ・参加者9名(保護者2名含む)を4～5名/班の2班に分け、班ごとに自己紹介。

10:00 新崎川源流に向けて、ハイキング出発。

- ・班ごとに、フィールドビンゴに取り組むながら、途中の植物や虫を観察してハイキング。

11:00 源流部に到着。

- ・湧水点とその周辺(柱状節理など)を観察。
- ・川の上流部での水生生物を観察。

11:30 幕山公園に戻り、昼食

- ・新崎川の全体地図を広げて、川の合流点や源流点の数を数えたりして、川の全貌を観察。

12:20 河口に向けて、ハイキング出発。

- ・湯河原町の農地周辺を観察しながらハイキング。

13:00 五郎神社に到着。

- ・境内のクスノキやマサキを観察し、トイレ休憩。

13:10 五郎神社から出発。

- ・新崎川の中流域で、魚道や野鳥(カワセミ、カルガモ、セグロセキレイ、等)を観察しながらハイキング。

- 14:10 吉浜海岸に到着。  
・ビーチコーミングや、海岸の石積みチャレンジ、等。
- 14:30 振り返り  
・事後アンケートを記入してもらい、回収。
- 14:45 湯河原町体育館駐車場に向けて出発。
- 15:00 湯河原町体育館駐車場にて、解散  
・全体の振り返りと、第3回以降の案内をして、迎えの保護者に参加者引渡し。  
・JR湯河原駅まで指導者が付添い、帰路につく。  
・指導者は、事後にメールで当日の振り返り、まとめを報告。

### 3.成果と課題

#### (1) 事業の成果と課題

- ① フィールドビンゴによる、源流までのハイキング  
・単調になりがちなハイキングを、フィールドビンゴを活用して、川沿いの林道をたどりながらも、周囲の照葉樹林にある植物の匂いや香り、味、触感を感じ、記録しながら、参加した子どもたちも飽きることなく歩くことができた。  
・源流域での箱根火山の痕跡、柱状節理の観察や、動物の痕跡探し、水中の生き物探し、は子どもたち自身の目で見つけていく取り組みとすることができた。  
・フィールドビンゴは、参加者一人一人の感性が凝縮され、思い出のお土産にもなった。
- ② 新崎川の全貌を地形図で観察  
・昼食時にアサギマダラの飛翔も観察することができ、ブームのアニメ「鬼滅の刃」との関連の話もすることができた。  
・昼食後に、地図を広げて新崎川の形を知るとともに、支流が合流する箇所が何カ所あるか？ また、水が出てくる場所が何カ所あるか？ 地図上で印を付けながら数えて、たった一つの川でも60箇所近くの支流の合流や源流点があることが分かり、驚いていた。
- ③ 新崎川を河口に向けてたどりながら、野鳥を観察  
・昼食後は市街地の中の中流域を歩き、子どもたち同士でおしゃべりしたり、カワセミやカワガラス、カルガモなどの野鳥を観察し、楽しくハイキングできた。  
・安全管理のために車両を追走させたことで、市街地でも安心して川沿いをたどることができた。
- ④ 新崎川の河口、吉浜海岸でビーチコーミングや石積みにチャレンジ  
・波打ち際を裸足になって歩いたり、浜にある丸い石を7~8段も積み上げたり、案外に参加者が夢中に楽しんでいった。
- ⑤ 全体を通して  
・フィールドビンゴや、コース途中にクイズを設けたりして、単調になりがちな歩き/ハイキングでも楽しい自然体験の場に行きわたることがわかった。  
・ルーペや双眼鏡なども活用した観察も取り入れたい。  
・今回は参加者小学生が7名、うち女子が1名だけで寂しそうだったが、女性の指導者もいて、何とか対応できた。  
・町中をグループで歩く際には、男子のじゃれ合いで事故を起こさないこと、野鳥を驚かさないように、また近隣に迷惑とならないように声を出して騒がないこと、などを随時注意しなければならない。  
・わずか4~5時間の中で源流から河口までをたどることができ、同行した保護者も含めて参加者が十分に楽しんでいただけた。

#### 4.団体プロフィール

##### ・団体概要

(一社)日本森林インストラクター協会 関東支部 神奈川地区

(一社)日本森林インストラクター協会に所属する森林インストラクターを中心に、NPO 法人・全国森林インストラクター神奈川会の協力、了解を得て、メンバーを構成。他に、森林インストラクターを目指すメンバー1名も加えて、全12名(支部長、地区委員を含む)の指導者(R2年11月1日現在)。

・連絡先 地区委員: 渡邊英夫 hwatana@mvi.biglobe.ne.jp 携帯電話 080-5028-9661

##### ・施設

第2回事業では、湯河原町幕山公園を利用  
湯河原町 公園課 TEL 0465-63-2111

#### 5.写真

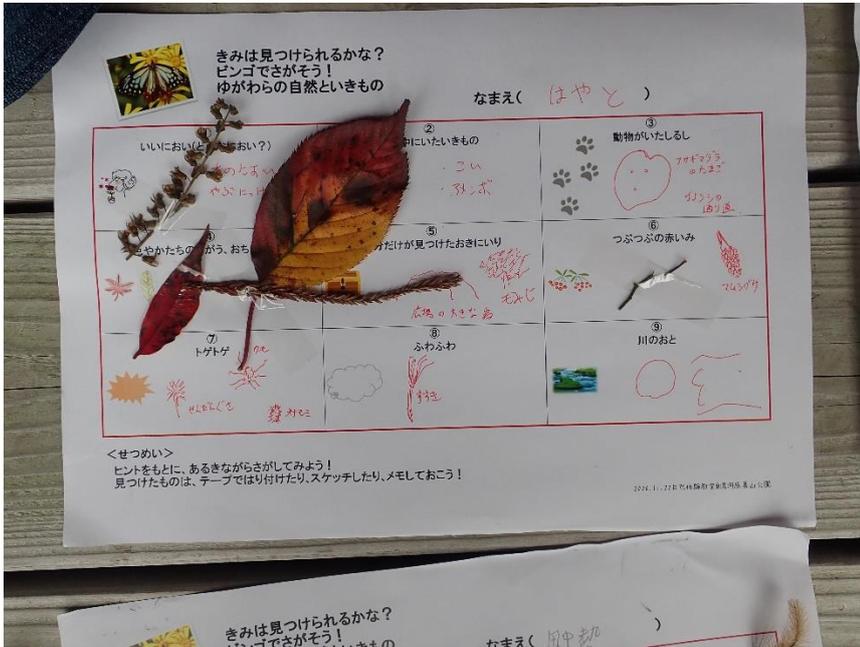
##### (1) 活動写真(キャプション付)



(写真1) 新崎川の源流、柱状節理の観察



(写真2) 源流で湧水点を覗き込む



(写真3) フィールドビンゴ



(写真4) 地形図を拡げて新崎川全体把握



(写真5) 中流での野鳥観察



(写真 6) 海岸で石積み

(2) 団体写真(キャプション付)



(写真 7) 吉浜海岸で集合写真撮影

(2020年11月28日、地区委員:渡邊報告)

以上